

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H23実績	H24実績	H25実績	H26計画
① 水の守運転管理業務	委託業者により水の守の運転管理を行う。	受入日数	日	296	292	293	293
② 公衆便所管理業務	委託業者により公衆便所の清掃管理を行う。	清掃回数(4力所延べ回数)	回	520	520	520	520
③ 一般廃棄物処理(し尿)・浄化槽清掃業許可業務	一般廃棄物処理業者・浄化槽清掃業者の許可を行う。	許可件数	件	5	5	5	4
④ 有明広域行政事務組合衛生費負担金業務	一部事務組合衛生費負担金を支出する。	-	-	-	-	-	-
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H23目標	H24目標	H25目標	H26目標
			H23実績	H24実績	H25実績	
1 し尿・浄化槽汚泥処理量	し尿・浄化槽汚泥の搬入量	m ³	13,996	12,854	20,305	19,499
			12,854	20,305	19,499	
2						

《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定)	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	/
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、役割が薄れていないか。	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	
有効性 (判定) A	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	/
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	/

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	供用開始してから2年が経過し、機械設備等の部品取替などが発生し始めてきたが、今後も適正に施設管理することにより衛生環境の整備に努める。
昨年からの見直し・改善状況【32】	特になし

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	し尿及び浄化槽汚泥処理業務については、地域の衛生・水環境を守るため今後も継続する。	評価責任者 西川 正美
------------------	---	----------------